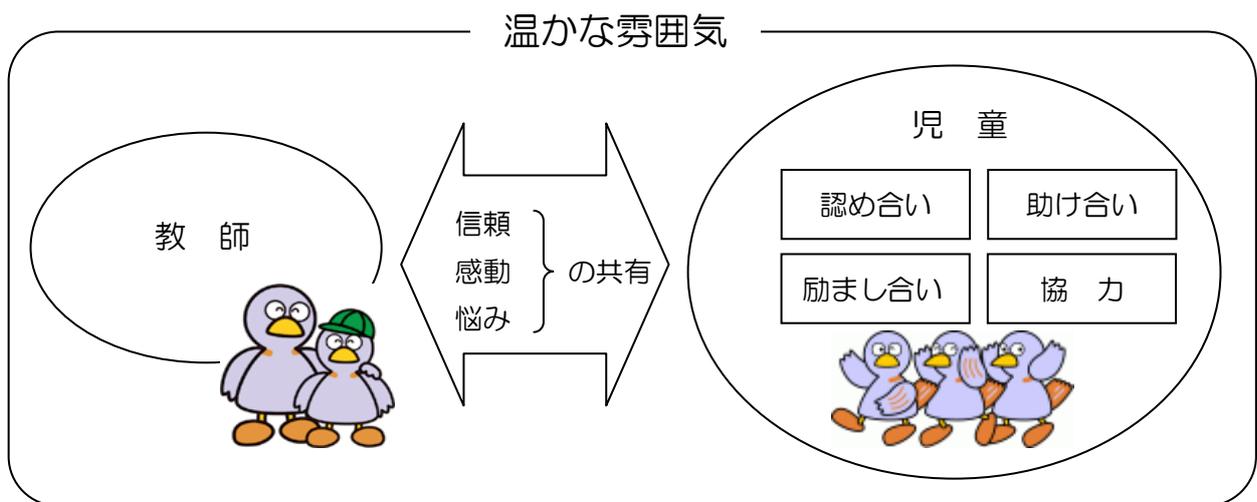


5 教師の心構え

信頼関係や温かい人間関係を基盤におく

道徳の時間の指導は、学級での温かい人間関係が基盤にあつてこそ効果を発揮します。教師と児童の信頼関係や児童相互の人間関係を育て、一人一人が自分の感じ方や考え方をのびのびと表現することのできる雰囲気をつくる日常の学級経営の中でつくるようにしましょう。そのためにも、教師と児童が共に語り合うことのできる場を日常から設定するようにすることが大切です。



児童と共に考え、悩み、感動を共有し、学び合うという姿勢をもつ

道徳は、児童のみではなく、教師自身の課題でもあります。児童に教え込もうとするのではなく、教師自らが児童と共に考え、悩み、感動を共有しながら、学んでいくという姿勢で授業に臨むことが大切です。

学習指導要領の解説には・・・

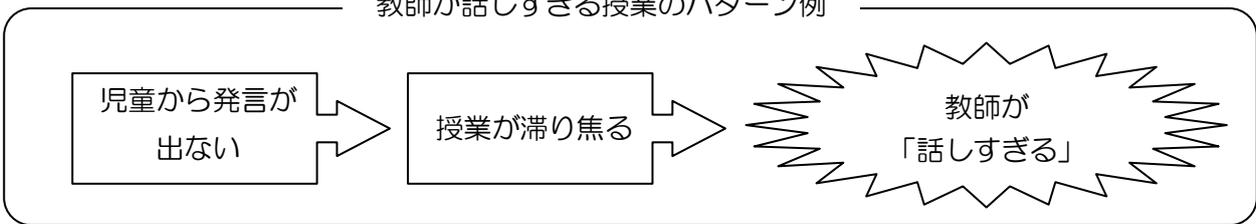
学習指導要領「第3章道徳」の「第2 内容」は、教師と児童とが人間としてのよりよい生き方を求め、共に考え、共に語り合い、その実行に努めるための共通の課題である。
(第3章 道徳の内容 第1節 内容の基本的性格 1 内容のとらえ方)

児童相互で聞き合い、討論することができる授業を目指す

教師は、話合いの調整をするだけでなく、児童の話合いの能力の高まりとともに、児童相互に聞き合い、討論することができるように工夫することが大切です。そのためには、まず児童が主体的に発言できるような支援が必要です。

- 教師が話しすぎないようにしましょう。

教師が話しすぎる授業のパターン例



こうならないためには、**児童の発言があるまで、じっくり「待つ」**ことです。「待つ」時間が、児童が自分の考えを深める時間になります。

- 一人一人の感じ方や考え方を広げたり深めたりしましょう。

教師の支援例

児童が一生懸命考えたことは、しっかり受け止め、その考えを広げたり深めたりしていきます。

- ・「分かりません。」という児童に対して・・・

→「もう少し時間をください。」
「考え中です。」

「考え中」「時間をください」という児童には、その後、考えたことを必ず発言させましょう。

- ・「私もAさんと同じです。」
という児童に対して・・・

→「私もAさんと同じで、～と思います。
理由は～だからです。」

理由を語らせることで、考えが整理できます。

- ・一人の考えを全体に広めるためには・・・

→教師：「Aさんの考えについて、みんなはどう思う？」

児童同士の「話し合い」につながります。

- ・ねらいと相反する考えが出てきたときには・・・

→どうしてそのように考えたのか、教師が
一歩踏み込んで児童に聞く。

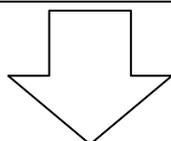
様々な考え方にふれるきっかけとなる場合があるので、大切に扱いましょう。

豊かな体験を通して内面に根ざした道徳性の育成を図る

集団宿泊活動やボランティア活動、自然体験活動など、児童が体全体で対象に働きかけ、かかわることにより、心が動かされ、新たな気付きや見方の広がりをもたらすような豊かな体験の充実が求められています。

体験活動を充実させるために

- 体験活動を行うねらいや意義を十分に理解させ、活動についてあらかじめ調べたりすることなどにより、意欲をもって活動できるようにする。
- 体験活動を通して、事後に感じたり気付いたりしたことを自己と対話しながら振り返り、まとめたり、伝え合ったりすることなどにより他者と体験を共有したり、広い認識につなげたりする。それぞれの学習活動での工夫を図ることを通して一層の充実を図る。



道徳の時間に体験活動を効果的に生かしましょう。

- 児童の発達の段階等を考慮して、**体験活動を全体計画等に位置付け**、実施できるようにすることが大切です。
 - ・身近にいる多様な人々とかかわったり、自然への関心を強めたりした直接体験の機会を**道徳の時間の指導につなげる**。
 - ・集団宿泊活動等の中での協力する体験、交流する体験、自然に親しむ体験などにおける活動の深まりを、**道徳の時間での資料に基づく話合いに意図的に生かしたりする**。

基本的な生活習慣や規範意識をしっかりと身に付けさせる

人間としてよりよく生きていくための道徳性を育成する視点に立って、基本的な生活習慣や社会の中でのきまり、**基本的なモラルにかかわる道徳的実践の指導は、学校の教育活動全体を通して心掛けていかなければなりません。**

社会生活上のきまりを身に付け、善悪を判断し、人間としてしてはならないことなどについて繰り返し指導する必要があります。

保護者や地域社会とも、連携を図って指導していきます。

してはならないことがある!

だれもが、自分の夢をかなえたいと願っています。そのみんなの夢を大切にするためにも、してはならないことがあります。してはならないことをしないこと。そして…、**「夢にむかって！」**はばたこう!

いと人の物を
いけては
いけません。

いつぞを
いけては
いけません。

いい人を
いじめは
いけません。

人の心や体を
傷つけては
いけません。

悪いことを しては いけません!
ならぬことは、ならぬものなのです。

